

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2	指定管理者	一般社団法人マザー・ウイング
3	指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 84,705人 (前年度比 92.1%) 内訳 ひろば利用者 56,169人 託児利用者 1,790人 中高生 23,492人 子育て支援者 721人 ホール利用 147件 (2,533人) ※視察等の来館者名 559人 平成23年度 45,641人 平成24年度 86,681人 平成25年度 92,036人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供, 子育てに関する相談, 情報提供等, 子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 53,114千円 (52,042千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 3,844千円 (3,813千円) ※託児料 698千円 (1,502千円) ※ホール利用料 その他収入 583千円 (682千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の声を事業に反映させるための意見箱を設置 イベント開催時に, 参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	仙台市子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し, 掲示等により, 利用者に周知している。 管理運営をとおして, 子育てを総合的に支援し, 子育てが安心してできるまちの実現に寄与していることが認められる。	S
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルの整備, スタッフミーティングの徹底により, 職場内の意思統一を図っており, 適切に運営されていることが認められる。	S
III 施設・設備の維持管理	乳幼児親子が安全かつ快適に利用できるよう配慮し, 優れた維持管理を行っていることが認められる。	S
IV サービスの質の向上	乳幼児親子の視点に立ったサービスの提供を心がけており, 相談, 意見, 要望など, 利用者の声を反映した優れた運営を行っていることが認められる。新人研修にはOJTを取り入れるなど, 職員の教育にも力を入れ, 一定の水準を保てるように努めている。	S
V 施設固有の基準	仕様書等に記載されている事業について, 適切に実施されている。地域においては各機関との連携をとりながら, 子育て拠点施設としての機能を十分に発揮している。ボランティアの育成にも力を入れるなどして, 自主的に活動できる体制づくりに努めるなど子育て支援に力を入れている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（一般社団法人マザー・ウイング）による自己評価》
<p>開館以来5年の成果をまとめる6年目となりました。利用者との関係をより確実なものとするために、ママボラを募集し利用者とともにのびすくを運営していく仕組みを作りました。また、震災後4年目に入り復興が進み一見平穏ように見える中で、ひろばの役割として心の悩みや子育ての不安を受け止められるよう、心のケア事業を自主事業と連動させながら取り組みました。地域や各機関との連携、信頼も深まり成果が上がっています。</p> <p>託児は、安心安全で、親子ともに満足いただけるよう努め評価をいただいています。</p> <p>中高生事業も安心安全な居場所づくりをベースに、参画や子どもの権利、一歩ふみだす場づくりを心がけました。子どもたちの声から手応えを感じています。地域や学校にも積極的に働きかけを行い、保護者の方からも信頼を得ています。</p> <p>子育て支援事業も着実に浸透してきており、全市的な役割を担いつつあります。</p> <p>ホール事業については、震災後の需要が減少したこともあり課題が残りましたが、本来の目的である子育て支援者や中高生の利用が増えていきます。</p> <p>これまでの蓄積を活かし、さらに充実した施設を目指して参ります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域子育て支援の拠点施設として、各機関と連携しながら子育てを総合的に支援する体制を構築している。職員に対する研修や災害発生時の役割分担の明確化など、実施水準の向上に向けた意欲的な取り組みが随所に見受けられる。また、利用者の個別相談にはきめ細やかに対応する等、利用者の要望に的確に応え、信頼関係が構築されていることが、利用者アンケートによる満足度の高さからも伺える。</p> <p>中高生の居場所事業については、模索しながらの取り組みではあるが、事業の定着が進んでおり評価できる。ボランティアの育成や子育て支援者への支援事業等、子育て支援事業が総合的に実施されており、優れた運営管理を行っていることが認められる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部子育て支援課